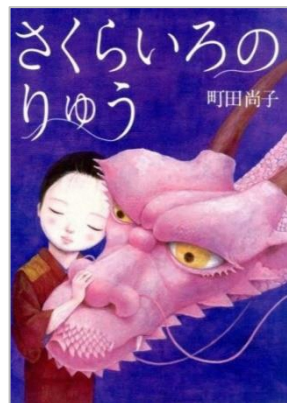


時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

こがくねんむ 2023年 秋号  
高学年向け



## 「さくらいろのりゅう」

町田 尚子/作 (アリス館)

「やくにたたないこいしのようだ」といわれ  
みんなにコイシと呼ばれている、ひとりぼっち  
の娘がいました。

ある日、コイシは山のおくのみずうみに住む  
りゅうと出会い、友達になります。

コイシがくれた、さくらいろのかいのかわり  
に、自分のうろこをとってさしだしたりゅう。  
珍しいりゅうのうろこに村人たちが目を付け  
て…。人間の欲深さについて考えさせられる  
サクヒン作品。

## 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本  
について話す。これが「うちどく(家読)」  
です。

難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみま  
しょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさん  
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい



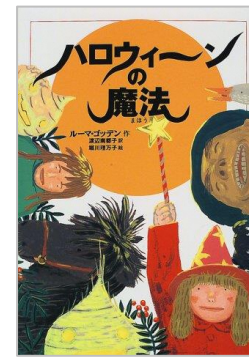
## 「未来の給食、なに食べる？」

おはなしサイエンス 未来のたべもの

楠木 誠一郎/作 下平 けーすけ/絵 (講談社)

ある日、理科部の先生に呼び出されたぼくら。  
5年生の部員だけで、食べ物が足りなくなる未来  
のために、「新しい食材をつかった給食」を  
考えることになった。でも、実際に使われてい  
る宇宙食やサプリメントという答えはだめらし  
い…。

5年生の3人が、それぞれ提案したものとは？  
科学の力で、未来の食料危機に立ち向かうこ  
とができるのかな？



## 「ハロウィーンの魔法」

ルーマ・ゴッテン/作 渡辺 南都子/訳

堀川 理万子/絵 (偕成社)

セリーナとマフェットは姉妹。優等生のマフェ  
ットとくらべ、セリーナは何をやってもへまばかり。  
姉妹の夢は、ポニーを手に入れること。運よく手  
に入れたポニーのハギスはずんぐりむっくりで、セ  
リーナのいうことをちっともききません。

ある日、村で評判のگانこ者マックじいさんの  
農場にハギスが入り込んでしまい…。

スコットランドの田舎を背景にした、心温まる  
物語です。



## 「こんぴら狗」

今井 恭子/作 いぬんこ/画 (くもん出版)

江戸時代、金毘羅参りは庶民の憧れ。でも  
自分はなかなか旅には出られないので、代わ  
りに飼っている犬をお参りに行かせる、とい  
うユニークな風習がありました。

捨て犬だったムツキを捨ててくれた弥生の  
治癒祈願のため、ムツキは「こんぴら狗」と  
して、江戸から金毘羅参りに向かうことにな  
ります。ムツキの旅は、波乱万丈。皆も一緒  
にムツキと金毘羅参りの旅に出よう！



## 「つくろう!食べよう!勝負ごはん」

夢をかなえるスポーツ応援レシピ 1

新生 暁子/監修 (日本図書センター)

スポーツをしているそのキミ!練習だけ  
が、強くなる近道じゃないのは知っているか  
な?

体操の内村選手など、アスリートたちはバ  
ランスのいい食事をとることに気をつかつ  
ているよ。この本にのっているレシピで栄養  
たっぷりの食事を作って、スポーツの秋を楽  
しもう!



## 「水平線のかなたに 真珠湾とヒロシマ」

ロイス・ローリー/著 田中 奈津子/訳

ケナード・パーク/画

(講談社)

同じ1937年に生まれたアメリカ人の  
少女と日本人の少年。12歳の時、たった  
一度だけフェンス越しに目が合いました。そ  
れから45年後。戦争と平和の時代を経て、  
ふたりは再び出会います。本当にあった  
不思議なお話。